

くつしたの日 × 文化服装学院ファッション流通専攻科ファッションディレクター専攻

# ヴァラニニ ヴェロニカ

VARANINI Veronica



くつしたの日のコンセプトの説明をしていただいた瞬間に、  
思い浮かんだヴィジュアルをイラストにしました。  
誰が見てもシンプルで可愛いと思うデザインに挑戦しました。  
靴下と愛を直接結ぶ、少し遊びがあるイラストを提案します。

Bring the love in pairs.

愛をペアで広げていこう。

# ヴァラニニ ヴェロニカ

VARANINI Veronica



Spread the Love, Spread the pairs.

ペアをバラバラにして、好きなように組み合わせ、様々な形の愛を認め、愛を広げていこう。

愛の形を異なる靴下と人間の脚で表現し、性別・国籍・年齢を問わず。子供とお母さんの愛。同性愛。国際カップル。愛の形は様々で自由です。

# 太田 裕美

Yumi Ota



テーマは「特別でお気に入りの靴下」

11月11日に大切な人から贈られたお気に入りの靴下。  
ある日、女の子はそんな特別な靴下を履いて、どこかへ出掛けて行きます。

踵を少し浮かせ、落ち着かない様子のあの子は誰を待っているのでしょうか。

女の子の気持ちを表す写真とテキストで表現しました。

# 木村 真央

Mao Kimura



靴下を履いている童話の主人公を考えた時「オズの魔法使い」に出てくるドロシーが思い浮かびました。物語の中では、ドロシーの靴に魔法がかかっています。ですが「くつしたの日」ということで「何気ない靴下にも魔法を」と意味を込め、タイトルも「靴下の魔法使い」に変えました。靴下で何でもない一日が素敵になりますように。

# 徳永 遥香

Haruka Tokunaga



作品のコンセプトは「運命の相手を探している女の子」  
です。靴下は2つでひとつ。その特徴に目を向け、

“ Which one is pair? ” どれがペアでしょうか？

“ Who (one is pair) ? ” だれが私の運命の相手なの？

という意味をかけた言葉を添えました。

数ある靴下の中で本当のペアはひとつだけ。そんな“運命の相手”を靴下で表現しました。

# 橋谷田 茂南

Mona Hashiyada

大好きな人におそろいの靴下を贈り、ずっと仲良くいてほしいという願いを込めてこの作品を作りました。

あえてイラストの線を細かく繊細に描きセリフを入れ、漫画風に描くことで、今の若い世代が好むようなテイストに仕上げました。モノクロの中に靴下だけカラフルにかわいく描いて強調しました。



# 柳澤 雄大

Yudai Yanagisawa



洗濯をしているときに「靴下が片方しかない。」と思  
い家の中を探してみると、ソファのすきまに靴下が  
挟まっていた。なんて経験はありませんか？

そんな日常風景を切り取りました。少し雑に扱われが  
ちな靴下をパートナーのように大切にしてみてもいいか  
がでしょうか。

# 山本 佳奈

Kana Yamamoto



売り手から買い手への、直接的な広告に感じさせないデザインを目指しました。「くつしたの日」をよく知らない第三者（イラストの人物）の表情・心情を描いています。

映画の宣伝風のタイトルで、読んでもすぐに理解できず、細部まで読ませられるようにしました。色数は少なくしてタイトルの存在感を残しました。



# 横島 静紅

Shizuku Yokoshima



大切な人に靴下を贈ることをイメージして作りました。  
暖かみのあるピンクの背景に、たくさんの靴下をレイ  
アウトし、プレゼントを意識した大きなりボンがメイ  
ンです。11・11の日付は、一目でくつしたの日と  
分かるように靴下を逆さまにしたものを使用しました。  
単純ですがインパクトのある作品になりました。